

要指導医薬品

医薬品を正しく購入するための
説 明 文 書

エバステルAL



使用前には必ず添付文書をお読み下さい。

1	名 称	エバステルAL (日本薬局方 エバスチン錠)									
2	成分・分量	1錠中 エバスチン 5mg									
3	用法・用量	<p>このお薬のみ方は？</p> <p>●用法・用量 下記の量を就寝前に水または温湯で服用してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>1回量</th> <th>1日服用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成人(15歳以上)</td> <td>1錠</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>15歳未満の小児</td> <td colspan="2">服用しないこと</td> </tr> </tbody> </table> <p>●服用する際の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 用法・用量を厳守してください。 (飲み忘れた場合は、服用間隔を24時間程度あければ就寝前でなくても服用可能です。) 花粉などによる季節性のアレルギー性鼻炎の症状に使用する場合は、花粉飛散期に入って症状が出始めた、症状の軽い早めの時期からの服用が効果的です。 1週間位服用しても症状がよくなる場合は、医師または薬剤師に相談してください。また、症状の改善がみられても2週間を超えて服用する場合は、医師または薬剤師に相談してください。 錠剤の取り出し方: 右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。) 	年齢	1回量	1日服用回数	成人(15歳以上)	1錠	1回	15歳未満の小児	服用しないこと	
年齢	1回量	1日服用回数									
成人(15歳以上)	1錠	1回									
15歳未満の小児	服用しないこと										
4	効能・効果	<p>このお薬の効果は？</p> <ul style="list-style-type: none"> このお薬は、鼻みず、鼻づまり、くしゃみを主な特徴とするアレルギー性の鼻炎症状に効果をあらわします。 このお薬は、「1回1錠1日1回」の服用で効果を示します。 このお薬は、医療用として使われている第二世代の抗ヒスタミン薬の「エバスチン」を配合しており、眠くなりにくく、口のかわきが起こりにくいという特徴をもっています。 <p>効能・効果は以下のとおりです。</p> <p>花粉、ハウスダスト(室内塵)などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：鼻みず、鼻づまり、くしゃみ</p>									
5	保健衛生上の危害を防止するために必要な事項	<p>このお薬を服用する前に、確認すべきことは？</p> <p>●次の人は、このお薬を服用することができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 <input type="checkbox"/> 15歳未満の小児 <p>●このお薬を服用する場合は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。 他のアレルギー用薬(皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む)、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬等)、爪白癬(爪水虫)の内服薬(イトラコナゾール)</p> <p>●授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。 (動物試験で薬剤の乳汁中への移行が認められています。)</p> <p>●次の人は、慎重に服用する必要があります。服用する前に医師または薬剤師に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 医師の治療を受けている人 (エリスロマイシン、イトラコナゾール、リファンピシンを服用している人は特に注意してください。) <input type="checkbox"/> 妊婦または妊娠していると思われる人 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 <input type="checkbox"/> 肝障害、気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎の診断を受けた人 <input type="checkbox"/> アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人 <p>このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？</p> <ul style="list-style-type: none"> 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください。 (眠気等があらわれることがあります。) 服用前後は飲酒しないでください。 									

副作用は？

- 特にご注意ください。重篤な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重篤な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には直ちに医師の診療を受けてください。

重篤な副作用	主な自覚症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並べ替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重篤な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがかたくなる
頭部	意識の混濁
眼	白目が黄色くなる
口や喉	声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ
胸部	息苦しい、動悸
腹部	食欲不振
皮膚	皮膚のかゆみ、じんましん、発疹、皮膚が黄色くなる
尿	褐色尿

また、次のような症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますが、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。

部位	症状
消化器	吐き気・嘔吐、胃部不快感、腹痛、舌炎
精神神経系	めまい、不眠、頭痛、しびれ感
循環器	血圧上昇
泌尿器	排尿困難、頻尿、尿糖
その他	むくみ、ほてり、鼻腔内乾燥、胸部圧迫感、体重増加、月経異常、脱毛、味覚異常

- 次のような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。
口のかわき、眠気、下痢

このお薬の形は？

直径	約6mm
重さ	83mg
色	白

フィルムコーティング錠



このお薬に含まれているのは？

(1錠中)

有効成分・分量	エバスタチン 5mg
添加物	乳糖、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、ステアリン酸Mg、無水ケイ酸、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、タルク

その他

- このお薬の保管方法は？
 - ・高温をさげ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
 - ・小児の手の届かない所に保管してください。
 - ・他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
 - ・PTPのアルミ箔が破れたり、中身の錠剤が破損しないように、保管及び携帯に注意してください。
 - ・使用期限をすぎた製品は服用しないでください。

このお薬についてのお問い合わせ先は？

- このお薬についてのご相談またはお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までお願いします。

興和株式会社 医薬事業部 お客様相談センター
〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14
TEL: 03-3279-7755 FAX: 03-3279-7566
電話受付時間：月～金（祝日を除く）9:00～17:00

服薬適性セルフチェックシート

①以下の項目に該当する人は服用できません。

- エバスタチンを含む薬剤によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 15歳未満の小児
- 次のいずれかの医薬品を使用している人
他のアレルギー用薬（皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む）、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬等）
- 授乳中の人
（授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。）

上記に該当しない場合

②以下の項目に1つでも該当した人は、本剤の服用に際して注意が必要です。服用する前に医師または薬剤師に相談してください。

- 医師の治療を受けている人
（エリスロマイシン、イトラコナゾール[®]、リファンピシンを服用している人は特に注意してください。）
- 妊婦または妊娠していると思われる人
- 高齢者
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 次の診断を受けた人
肝障害、気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎
- アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人

※「このお薬を服用する前に、確認すべきことは？」もご参照ください。

6

薬剤師が必要と判断する事項

（注意事項）

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に役立たせるために必要な情報です。
2. 法令により、要指導医薬品は必ず、第1類医薬品は薬剤師が必要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。
3. 服用後、体調に変化等があった場合（副作用など）には服用を中止し、すぐに購入された店舗または薬剤師にご相談下さい。